

りそな つみたてグローバル株式 アクティブファンド

旧名称：グローバル厳選株式ファンド

運用報告書（全体版）

第4期（決算日 2023年8月21日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

「りそな つみたてグローバル株式アクティブファンド」は、2023年8月21日に第4期の決算を行いましたので、期中の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2019年8月28日から無期限です。	
運用方針	日本を含む先進国および新興国の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の積極的な成長を図ることを目指して運用を行います。	
主要投資対象	りそな つみたてグローバル株式 アクティブファンド	・RMグローバル厳選株式マザーファンドの受益証券
	RMグローバル厳選株式 マザーファンド	・国内および海外の金融商品取引市場に上場されている株式
主な投資制限	りそな つみたてグローバル株式 アクティブファンド	・株式への実質投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	RMグローバル厳選株式 マザーファンド	・株式への投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等を分配対象額とし、原則として基準価額の水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

<照会先>

電話番号：0120-223351

（委託会社の営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ：https://www.resona-am.co.jp/

りそなアセットマネジメント 株式会社

東京都江東区木場1丁目5番65号

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額			MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス (配当込み、円換算ベース)		株組入比率	純資産額		
	(分配落)	税分 込配	み 金	期 騰 落	中 率			(参考指数)	期 騰 落
(設定日) 2019年8月28日	円 10,000	—	円 —	—	% —	—	% —	—	百万円 500
1期(2020年8月20日)	13,356	—	0	—	33.6	128,727.59	—	16.7	667
2期(2021年8月20日)	19,021	—	0	—	42.4	171,088.18	—	32.9	951
3期(2022年8月22日)	18,416	—	0	△	3.2	196,029.65	—	14.6	1
4期(2023年8月21日)	20,751	—	0	—	12.7	219,080.47	—	11.8	161

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額(元本=10,000円)です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス(配当込み、円換算ベース)は、MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス(米ドルベース)をもとに委託会社が円換算して計算したものです。MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス(米ドルベース)は、MSCI Inc.が開発した、日本を含む先進国および新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものであり、指数に関する著作権、知的財産権その他の権利はMSCI Inc.に帰属します。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス (配当込み、円換算ベース)		株組入比率		
	騰落率	騰落率	(参考指数)	騰落率			
(期首) 2022年8月22日	円 18,416	% —	—	% —	% 98.3		
8月末	17,552	△	4.7	188,986.65	△	3.6	97.2
9月末	16,230	△	11.9	179,013.11	△	8.7	97.6
10月末	17,030	△	7.5	193,650.24	△	1.2	97.6
11月末	17,140	△	6.9	190,567.27	△	2.8	95.2
12月末	16,525	△	10.3	179,382.93	△	8.5	97.8
2023年1月末	18,000	△	2.3	187,155.82	△	4.5	96.8
2月末	18,527	—	0.6	191,828.31	△	2.1	98.7
3月末	18,219	△	1.1	191,246.74	△	2.4	97.8
4月末	18,306	△	0.6	195,635.71	△	0.2	98.1
5月末	19,551	—	6.2	205,153.57	—	4.7	98.2
6月末	21,194	—	15.1	220,931.12	—	12.7	98.2
7月末	21,294	—	15.6	224,528.42	—	14.5	98.4
(期末) 2023年8月21日	20,751	—	12.7	219,080.47	—	11.8	98.3

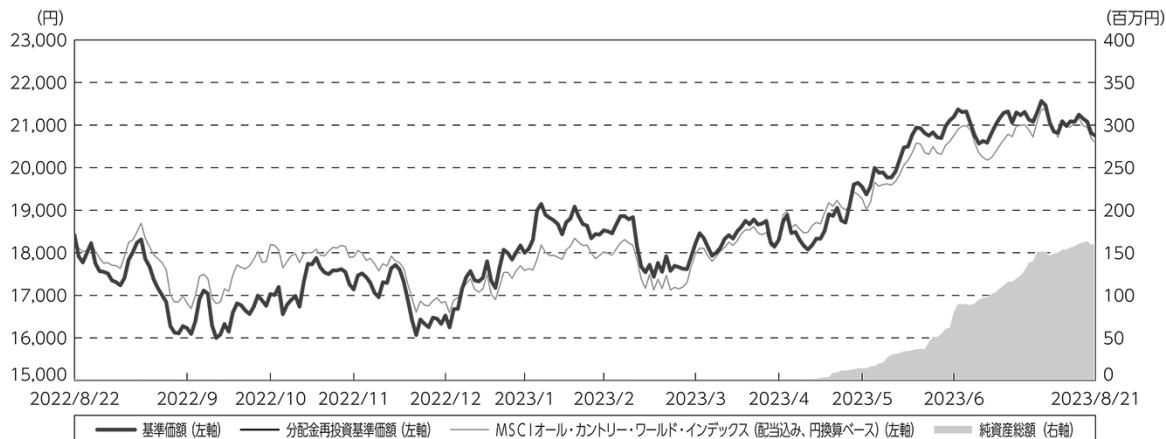
(注) 騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

○運用経過

(2022年8月23日～2023年8月21日)

期中の基準価額等の推移



期首：18,416円

期末：20,751円 (既払分配金(税引前)：0円)

騰落率：12.7% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびMSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス(配当込み、円換算ベース)は、期首(2022年8月22日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス(配当込み、円換算ベース)は当ファンドの参考指数です。
- (注) MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス(配当込み、円換算ベース)は、MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス(米ドルベース)をもとに委託会社が円換算して計算したものです。MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス(米ドルベース)は、MSCI Inc.が開発した、日本を含む先進国および新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものであり、指数に関する著作権、知的財産権その他の権利はMSCI Inc.に帰属します。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の変動要因

米国ではインフレ鈍化の動きに加え、景気後退が軽微なものにとどまるとの見方が広がったことで、グローバル株式市場は上昇し、当ファンドの基準価額も上昇しました。

投資環境

グローバル株式市況

グローバルの株式市場は、前期末と比較して上昇しました。期前半は、主要国中央銀行（日本除く）による大幅利上げや物価高によるコスト増加懸念などから、企業業績の先行き不透明感が強まり、株式市場は不安定化する場面もみられました。2023年3月には、米国の一部の中堅銀行の破綻などをきっかけに米欧を中心に金融システム不安が強まり、株式市場では売り圧力が強まりました。その後、金融システム不安が小康状態入りし、主要国中央銀行（日本除く）による利上げの最終局面入りが意識されたことなどから買い安心感が広がり、株式市場は上昇基調となりましたが、期末にかけては下落しました。

為替市況

前期末と比較して、円は米ドル・ユーロの双方に対して円安となりました。

米ドルに対して、内外金利差拡大などを背景に円安米ドル高が急速に進行し、一時1米ドル＝151円を付ける場面もみられました。米国ではインフレ抑制を目指すFRB（米連邦準備制度理事会）による大幅利上げが急速に進められるなか、国内では日銀による大規模な金融緩和策を維持する姿勢が示されました。

ユーロに対して、ECB（欧州中央銀行）が利上げを急速なペースで進めるなか、一時1ユーロ＝159円台まで円安ユーロ高が進行しました。

新興国通貨は、ブラジルやメキシコなどの中南米諸国ではインフレ率に対して高利回りの政策金利となっていることから円・米ドルの双方に対して通貨高が進行しました。一方、トルコでは、金融政策の先行きに強い不透明感が残ることから、円・米ドルの双方に対して通貨安が大幅に進行しました。

当ファンドのポートフォリオ

当ファンド

RMグローバル厳選株式マザーファンド受益証券を高位に組入れて運用を行いました。

なお、実質組入外貨建資産については、為替ヘッジ（為替の売り予約）は行っておりません。

RMグローバル厳選株式マザーファンド

国内および海外の金融商品取引市場に上場されている株式を主要投資対象とし、経営戦略とその実行力に主眼を置いた調査・分析を行い、グローバルなビジネス市場において持続的な競争優位性を持つと期待できる銘柄を厳選して投資を行いました。

当期のファンドの基準価額に影響を与えた主な投資銘柄は以下のとおりです。

<プラス要因>

■ エヌビディア（米国）

GPU（画像処理用半導体）の世界最大手企業です。コア技術であるGPUにリソースを集中し、汎用性の高いGPUプラットフォーム（GPUが動作する基盤となる環境）を世の中に広く提供し、自社に有利なビジネス生態系を構築することで競合企業を圧倒してきました。直近の業績をけん引するのはデータセンターやゲーム向けGPUですが、将来的にはメタバース（ネット上に構築された仮想空間）やADAS（先進運転支援システム）での成長が期待されています。直近では生成AI（人工知能）の発展において同社GPUは欠かせないとの認識が広がったことから、株価は大きく上昇しました。

■ キング・スライド・ワークス（台湾）

サーバー向けレールキットの世界大手企業です。技術力とコスト競争力に優位性を持ち、特にサーバーを手前に引く際のスムーズさや安定性は、同社が高い市場シェアを占める要因となっています。また、同社はキッチン向けレールキットも製造しており、加工難易度や装飾性、機能性の向上により、今後さらなる市場シェアの拡大と成長が期待されています。当期は、AI投資拡大への期待に加え、インテル（米国）の大規模投資による需要増加が見込まれたことから、株価は上昇しました。

<マイナス要因>**■ SVBファイナンシャル・グループ（米国）**

ハイテクおよびヘルスケア業界に特化した金融サービス企業です。スタートアップ企業や、スタートアップ企業に投資をするベンチャーキャピタルなどを主要顧客に持ち、シリコンバレーの発展とともに成長してきました。しかし、2023年3月に金利上昇を受けた投資債券の値下がりや顧客企業の資金調達悪化等で同社の財務健全性や資金繰りに対する市場の懸念が強まったことから、破綻リスクを考慮し売却しました。

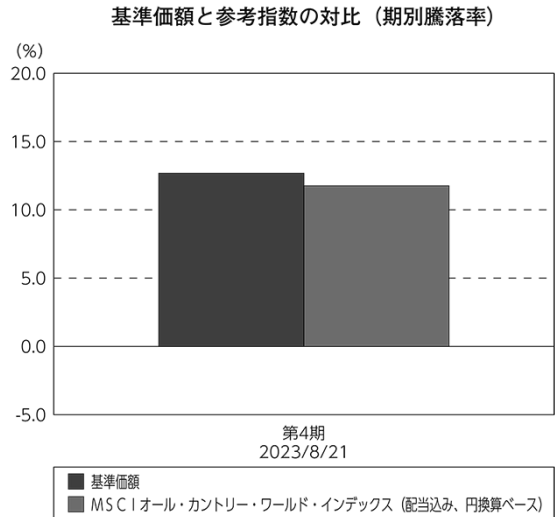
■ エムスリー（日本）

医療従事者向けの情報提供サイト「m3. com」の運営会社です。国内では90%超の医師が、また海外でも多数の医師が当サイトの会員となっています。医師との強い接点を活かして、薬剤を始めとする最新の医療情報を提供する「MR君」など多様なサービスを展開しています。医療現場における様々な非効率性の解消を収益として取り込むとともに、製薬企業のDX（デジタルトランスフォーメーション）化のサポート役としての成長が期待されています。当期は顧客製薬企業の予算圧縮の動きなどが嫌気され株価は軟調に推移しましたが、中長期での成長性に対する見方に変化は無く、継続保有としています。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

グラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

分配金

当期の収益分配金につきましては、基準価額の水準、市況動向等を勘案した上で、分配を見送りとさせていただきます。収益分配にあてなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項目	第4期
	2022年8月23日～ 2023年8月21日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	10,750

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

当ファンド

引き続き、RMグローバル厳選株式マザーファンド受益証券を高位に組入れて運用を行う方針です。
なお、原則として、実質組入外貨建資産については、為替ヘッジ（為替の売り予約）は行いません。

RMグローバル厳選株式マザーファンド

米国ではインフレ鈍化の兆しがみられ、政策金利のピークアウト、景気のソフトランディングを意識する動きが目立つ一方で、これまでの金融引き締め長期化で2023年度後半には景気が急速に落ち込むとの見方も根強く残っています。そうしたなか、当ファンドでは国内および海外の金融商品取引市場に上場されている株式を主要投資対象とし、経営戦略とその実行力に主眼を置いた調査・分析を行い、グローバルなビジネス市場において持続的な競争優位性を持つと期待できる銘柄を厳選した投資を継続します。

地政学リスクを始めとした外部環境の変化を注視しながら、企業の現在および将来の競争力への影響を評価し、必要と判断すればポートフォリオの見直しを実施してまいります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2022年 8 月23日～2023年 8 月21日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	191	1.042	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(92)	(0.505)	ファンドの運用・調査、基準価額の計算、開示資料作成等の対価
（ 販 売 会 社 ）	(92)	(0.505)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(6)	(0.033)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	31	0.167	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	(31)	(0.167)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	16	0.086	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	(16)	(0.086)	
(d) そ の 他 費 用	8	0.046	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(7)	(0.037)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(2)	(0.009)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.001)	その他は、ファンドの運営管理にかかる費用等
合 計	246	1.341	
期中の平均基準価額は、18,297円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

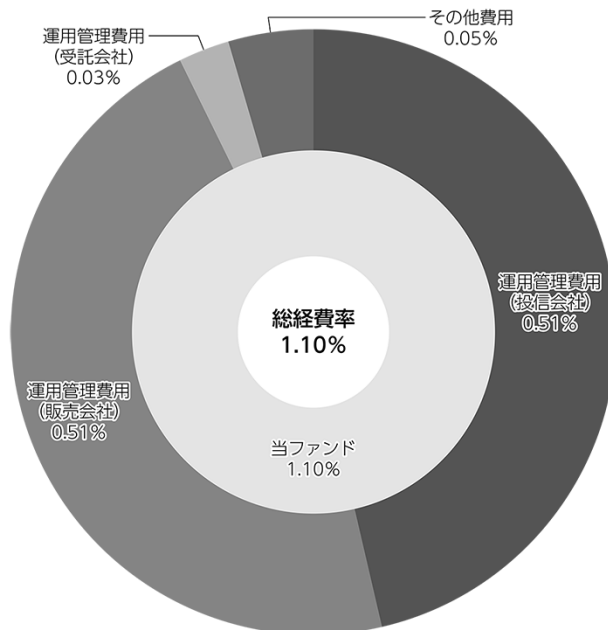
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.10%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2022年8月23日～2023年8月21日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
RMグローバル厳選株式マザーファンド	千口 73,384	千円 164,208	千口 2,332	千円 5,315

○株式売買比率

(2022年8月23日～2023年8月21日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
	RMグローバル厳選株式マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	26,340,518千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	14,852,694千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.77

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○利害関係人との取引状況等

(2022年8月23日～2023年8月21日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2022年8月23日～2023年8月21日)

該当事項はございません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2022年8月23日～2023年8月21日)

期首残高 (元本)	当期設定 元本	当期解約 元本	期末残高 (元本)	取引理由
百万円 1	百万円 -	百万円 1	百万円 -	当初設定時における取得およびその処分

○組入資産の明細

(2023年8月21日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
RMグローバル厳選株式マザーファンド	千口 935	千口 71,987	千円 161,626

○投資信託財産の構成

(2023年8月21日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
RMグローバル厳選株式マザーファンド	千円 161,626	% 97.9
コール・ローン等、その他	3,410	2.1
投資信託財産総額	165,036	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) RMグローバル厳選株式マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(18,493,882千円)の投資信託財産総額(21,436,449千円)に対する比率は86.3%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=145.33円、1ユーロ=158.12円、1スイスフラン=164.85円、1デンマーククローネ=21.22円、1オーストラリアドル=93.20円、1香港ドル=18.56円、1新台湾ドル=4.5514円。

○特定資産の価格等の調査

(2022年8月23日～2023年8月21日)

該当事項はございません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年8月21日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	165,036,632
コール・ローン等	1,050,926
RMグローバル厳選株式マザーファンド(評価額)	161,626,406
未収入金	2,359,300
(B) 負債	3,159,315
未払解約金	2,933,003
未払信託報酬	224,852
未払利息	2
その他未払費用	1,458
(C) 純資産総額(A-B)	161,877,317
元本	78,010,317
次期繰越損益金	83,867,000
(D) 受益権総口数	78,010,317口
1万口当たり基準価額(C/D)	20,751円

(注) 当ファンドの期首元本額は1,000,000円、期中追加設定元本額は81,789,733円、期中一部解約元本額は4,779,416円です。

(注) 当期末の1口当たり純資産額は2.0751円です。

○損益の状況 (2022年8月23日～2023年8月21日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 60
支払利息	△ 60
(B) 有価証券売買損益	604,100
売買益	895,275
売買損	△ 291,175
(C) 信託報酬等	△ 235,562
(D) 当期損益金(A+B+C)	368,478
(E) 前期繰越損益金	781,814
(F) 追加信託差損益金	82,716,708
(配当等相当額)	(70,090,063)
(売買損益相当額)	(12,626,645)
(G) 計(D+E+F)	83,867,000
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	83,867,000
追加信託差損益金	82,716,708
(配当等相当額)	(70,165,069)
(売買損益相当額)	(12,551,639)
分配準備積立金	1,150,292

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(75,071円)、費用控除後の有価証券等損益額(230,500円)、信託約款に規定する収益調整金(82,716,708円)および分配準備積立金(844,721円)より分配対象収益は83,867,000円(1万口当たり10,750円)ですが、当期に分配した金額はありません。

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税込み)	0円
----------------	----

○お知らせ

- ・ファンドの名称を変更するため約款に所要の変更を行いました。(2022年8月23日)
- ・購入時手数料を廃止するため約款に所要の変更を行いました。(2022年8月23日)
- ・信託報酬率の引き下げを行うため約款に所要の変更を行いました。(2022年8月23日)

RMグローバル厳選株式マザーファンド

運用報告書

第4期（決算日 2023年8月21日）
（2022年8月23日～2023年8月21日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2019年8月28日から無期限です。
運用方針	<p>①主として、日本を含む先進国および新興国の金融商品取引所に上場または店頭登録されている株式*に投資し、信託財産の積極的な成長を目指します。 *上場予定、店頭登録予定を含みます。 *DR（預託証券）もしくは株式と同等の投資効果が得られる権利を表示する証券および証券等を含みます。</p> <p>②経営戦略とその実行力に主眼を置いた調査・分析を行い、グローバルなビジネス市場において持続的な競争優位性を持つと期待できる銘柄を厳選して投資を行います。</p> <p>③株式の組入比率は、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。</p> <p>④組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。</p>
主要投資対象	・国内および海外の金融商品取引市場に上場されている株式
主な投資制限	・株式への投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

りそなアセットマネジメント 株式会社

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額		MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス (配当込み、円換算ベース) (参考指数)	株組入比率		純資産額
	騰落	中率		騰落	中率	
(設定日) 2019年8月28日	円 10,000	% —	110,291.26	% —	% —	百万円 499
1期(2020年8月20日)	13,576	35.8	128,727.59	16.7	99.1	667
2期(2021年8月20日)	19,661	44.8	171,088.18	32.9	98.9	950
3期(2022年8月22日)	19,663	0.0	196,029.65	14.6	98.4	9,858
4期(2023年8月21日)	22,452	14.2	219,080.47	11.8	98.4	21,433

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額（元本＝10,000円）です。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス（配当込み、円換算ベース）は、MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス（米ドルベース）をもとに委託会社が円換算して計算したものです。MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス（米ドルベース）は、MSCI Inc. が開発した、日本を含む先進国および新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものであり、指数に関する著作権、知的財産権その他の権利はMSCI Inc. に帰属します。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス (配当込み、円換算ベース) (参考指数)	株組入比率	
	騰落	率		騰落	率
(期首) 2022年8月22日	円 19,663	% —	196,029.65	% —	% 98.4
8月末	18,744	△ 4.7	188,986.65	△ 3.6	97.3
9月末	17,346	△ 11.8	179,013.11	△ 8.7	97.7
10月末	18,218	△ 7.3	193,650.24	△ 1.2	97.7
11月末	18,352	△ 6.7	190,567.27	△ 2.8	95.4
12月末	17,708	△ 9.9	179,382.93	△ 8.5	98.0
2023年1月末	19,309	△ 1.8	187,155.82	△ 4.5	96.9
2月末	19,891	1.2	191,828.31	△ 2.1	98.8
3月末	19,577	△ 0.4	191,246.74	△ 2.4	97.9
4月末	19,687	0.1	195,635.71	△ 0.2	98.1
5月末	21,029	6.9	205,153.57	4.7	98.3
6月末	22,877	16.3	220,931.12	12.7	98.3
7月末	23,024	17.1	224,528.42	14.5	98.5
(期末) 2023年8月21日	22,452	14.2	219,080.47	11.8	98.4

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

(2022年8月23日～2023年8月21日)

期中の基準価額等の推移

○基準価額の変動要因

米国ではインフレ鈍化の動きに加え、景気後退が軽微なものにとどまるとの見方が広がったことで、グローバル株式市場は上昇し、当ファンドの基準価額も上昇しました。



(注) 参考指数は期首の値をファンド基準価額と同一となるよう指数化しています。

投資環境

グローバル株式市況

グローバルの株式市場は、前期末と比較して上昇しました。期前半は、主要国中央銀行（日本除く）による大幅利上げや物価高によるコスト増加懸念などから、企業業績の先行き不透明感が強まり、株式市場は不安定化する場面もみられました。2023年3月には、米国の一部の中堅銀行の破綻などをきっかけに米欧を中心に金融システム不安が強まり、株式市場では売り圧力が強まりました。その後、金融システム不安が小康状態入りし、主要国中央銀行（日本除く）による利上げの最終局面入り意識されたことなどから買い安心感が広がり、株式市場は上昇基調となりましたが、期末にかけては下落しました。

為替市況

前期末と比較して、円は米ドル・ユーロの双方に対して円安となりました。

米ドルに対して、内外金利差拡大などを背景に円安米ドル高が急速に進行し、一時1米ドル＝151円を付ける場面もみられました。米国ではインフレ抑制を目指すFRB（米連邦準備制度理事会）による大幅利上げが急速に進められるなか、国内では日銀による大規模な金融緩和策を維持する姿勢が示されました。

ユーロに対して、ECB（欧州中央銀行）が利上げを急速なペースで進めるなか、一時1ユーロ＝159円台まで円安ユーロ高が進行しました。

新興国通貨は、ブラジルやメキシコなどの中南米諸国ではインフレ率に対して高利回りの政策金利となっていることから円・米ドルの双方に対して通貨高が進行しました。一方、トルコでは、金融政策の先行きに強い不透明感が残ることから、円・米ドルの双方に対して通貨安が大幅に進行しました。

当ファンドのポートフォリオ

国内および海外の金融商品取引市場に上場されている株式を主要投資対象とし、経営戦略とその実行力に主眼を置いた調査・分析を行い、グローバルなビジネス市場において持続的な競争優位性を持つと期待できる銘柄を厳選して投資を行いました。

当期のファンドの基準価額に影響を与えた主な投資銘柄は以下のとおりです。

<プラス要因>

■ エヌビディア（米国）

GPU（画像処理用半導体）の世界最大手企業です。コア技術であるGPUにリソースを集中し、汎用性の高いGPUプラットフォーム（GPUが動作する基盤となる環境）を世の中に広く提供し、自社に有利なビジネス生態系を構築することで競合企業を圧倒してきました。直近の業績をけん引するのはデータセンターやゲーム向けGPUですが、将来的にはメタバース（ネット上に構築された仮想空間）やADAS（先進運転支援システム）での成長が期待されています。直近では生成AI（人工知能）の発展において同社GPUは欠かせないとの認識が広がったことから、株価は大きく上昇しました。

■ キング・スライド・ワークス（台湾）

サーバー向けレールキットの世界大手企業です。技術力とコスト競争力に優位性を持ち、特にサーバーを手前に引く際のスムーズさや安定性は、同社が高い市場シェアを占める要因となっています。また、同社はキッチン向けレールキットも製造しており、加工難易度や装飾性、機能性の向上により、今後さらなる市場シェアの拡大と成長が期待されています。当期は、AI投資拡大への期待に加え、インテル（米国）の大規模投資による需要増加が見込まれたことから、株価は上昇しました。

<マイナス要因>

■ SVBファイナンシャル・グループ（米国）

ハイテクおよびヘルスケア業界に特化した金融サービス企業です。スタートアップ企業や、スタートアップ企業に投資をするベンチャーキャピタルなどを主要顧客に持ち、シリコンバレーの発展とともに成長してきました。しかし、2023年3月に金利上昇を受けた投資債券の値下がりや顧客企業の資金調達悪化等で同社の財務健全性や資金繰りに対する市場の懸念が強まったことから、破綻リスクを考慮し売却しました。

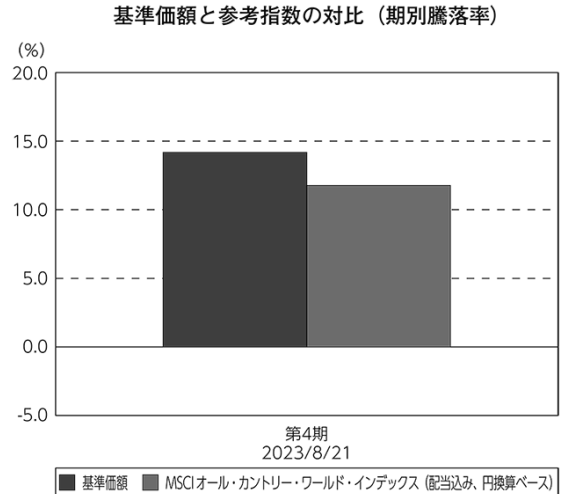
■ エムスリー（日本）

医療従事者向けの情報提供サイト「m3.com」の運営会社です。国内では90%超の医師が、また海外でも多数の医師が当サイトの会員となっています。医師との強い接点を活かして、薬剤を始めとする最新の医療情報を提供する「MR君」など多様なサービスを展開しています。医療現場における様々な非効率性の解消を収益として取り込むとともに、製薬企業のDX（デジタルトランスフォーメーション）化のサポート役としての成長が期待されています。当期は顧客製薬企業の予算圧縮の動きなどが嫌気され株価は軟調に推移しましたが、中長期での成長性に対する見方に変化は無く、継続保有としています。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

グラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



○今後の運用方針

米国ではインフレ鈍化の兆しがみられ、政策金利のピークアウト、景気のソフトランディングを意識する動きが目立つ一方で、これまでの金融引き締め長期化で2023年度後半には景気が急速に落ち込むとの見方も根強く残っています。そうしたなか、当ファンドでは国内および海外の金融商品取引市場に上場されている株式を主要投資対象とし、経営戦略とその実行力に主眼を置いた調査・分析を行い、グローバルなビジネス市場において持続的な競争優位性を持つと期待できる銘柄を厳選した投資を継続します。

地政学リスクを始めとした外部環境の変化を注視しながら、企業の現在および将来の競争力への影響を評価し、必要と判断すればポートフォリオの見直しを実施してまいります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2022年 8 月 23 日～2023年 8 月 21 日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 35 (35)	% 0.181 (0.181)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	10 (10)	0.053 (0.053)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	6 (6) (0)	0.031 (0.028) (0.002)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 その他は、ファンドの運営管理にかかる費用等
合 計	51	0.265	
期中の平均基準価額は、19,646円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2022年8月23日～2023年8月21日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国内	上場	千株	千円	千株	千円
		591	2,229,653	186	827,817
外国	アメリカ	百株	千米ドル	百株	千米ドル
		5,328	73,502	2,030	33,815
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	307	8,380	35	1,924
	フランス	776	2,799	146	564
	オランダ	60	3,431	25	1,519
	スイス	0.47	千スイスフラン	0.06	千スイスフラン
			4,852		641
	デンマーク	230	千デンマーククローネ	556	千デンマーククローネ
			10,149		27,439
国	オーストラリア	656	千オーストラリアドル	348	千オーストラリアドル
			3,756		2,295
	香港	5,084	千香港ドル	1,719	千香港ドル
			38,990		14,918
台湾	5,970	千新台幣ドル	9,644	千新台幣ドル	
	(371)	(-)		394,614	

(注) 金額は受け渡し代金。

(注) ()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2022年8月23日～2023年8月21日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	26,340,518千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	14,852,694千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.77

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○利害関係人との取引状況等

(2022年8月23日～2023年8月21日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況（2022年8月23日～2023年8月21日）

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2023年8月21日現在)

国内株式

銘柄	株数	期首(前期末)	当期		末
		株数	株数	評価額	評価額
		千株	千株		千円
医薬品 (52.8%)					
塩野義製薬	41.6		121.4		764,820
ペプチドリーム	185.3		382.2		687,386
電気機器 (23.3%)					
ニデック	31.8		—		—
キーエンス	5.4		10.8		639,468
サービス業 (23.9%)					
エムスリー	76.2		231.2		657,417
合計	株数・金額	340	745		2,749,091
	銘柄数<比率>	5	4		<12.8%>

(注) 銘柄欄の()内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注) 評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

外国株式

銘柄	株数	当期		期末		業種等
		株数	株数	評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株		千円		
DANAHER CORP	75	197	4,953	719,860	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
WALT DISNEY CO/THE	209	586	5,045	733,226	メディア・娯楽	
ECOLAB INC	131	267	4,790	696,220	素材	
AMPHENOL CORP-CL A	300	608	5,182	753,184	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
GARTNER INC	83	141	4,642	674,623	ソフトウェア・サービス	
NIKE INC -CL B	198	467	4,897	711,793	耐久消費財・アパレル	
VISA INC-CLASS A SHARES	98	211	5,028	730,789	金融サービス	
VMWARE INC-CLASS A	183	-	-	-	ソフトウェア・サービス	
ABIOMED INC	74	-	-	-	ヘルスケア機器・サービス	
ADOBE INC	55	97	4,930	716,532	ソフトウェア・サービス	
ALIGN TECHNOLOGY INC	82	150	5,284	767,942	ヘルスケア機器・サービス	
ANSYS INC	82	151	4,433	644,337	ソフトウェア・サービス	
AXON ENTERPRISE INC	-	285	5,704	828,998	資本財	
AMAZON.COM INC	181	394	5,257	764,037	一般消費財・サービス流通・小売り	
EXPONENT INC	-	529	4,717	685,555	商業・専門サービス	
INTUITIVE SURGICAL INC	96	157	4,491	652,820	ヘルスケア機器・サービス	
MONOLITHIC POWER SYSTEMS INC	-	95	4,597	668,109	半導体・半導体製造装置	
NVIDIA CORP	126	113	4,933	716,920	半導体・半導体製造装置	
SVB FINANCIAL GROUP	57	-	-	-	銀行	
STAAR SURGICAL CO	-	880	3,790	550,943	ヘルスケア機器・サービス	
小計	株数・金額	2,036	5,334	82,680	12,015,897	
	銘柄数<比率>	16	17	-	<56.1%>	
(ユーロ…ドイツ)				千ユーロ		
HANNOVER RUECK SE	-	235	4,576	723,655	保険	
RATIONAL AG	32	69	4,585	725,005	資本財	
小計	株数・金額	32	304	9,161	1,448,661	
	銘柄数<比率>	1	2	-	<6.8%>	
(ユーロ…フランス)						
DASSAULT SYSTEMES SE	522	1,152	4,119	651,428	ソフトウェア・サービス	
小計	株数・金額	522	1,152	4,119	651,428	
	銘柄数<比率>	1	1	-	<3.0%>	
(ユーロ…オランダ)						
ASML HOLDING NV	40	74	4,463	705,811	半導体・半導体製造装置	
小計	株数・金額	40	74	4,463	705,811	
	銘柄数<比率>	1	1	-	<3.3%>	
ユーロ計	株数・金額	595	1,531	17,745	2,805,901	
	銘柄数<比率>	3	4	-	<13.1%>	
(スイス)				千スイスフラン		
CHOCOLADEFABRIKEN LINDT-REG	-	0.41	4,239	698,865	食品・飲料・タバコ	
小計	株数・金額	-	0.41	4,239	698,865	
	銘柄数<比率>	-	1	-	<3.3%>	
(デンマーク)				千デンマーククローネ		
CHR HANSEN HOLDING A/S	325	-	-	-	素材	
小計	株数・金額	325	-	-	-	
	銘柄数<比率>	1	-	-	<-%>	

銘柄	株数	当 期 末		業 種 等		
		株数	評価額			
(オーストラリア) WISETECH GLOBAL LTD	百株 616	百株 924	千オーストラリアドル 7,766	千円 723,882	ソフトウェア・サービス	
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	616 1	924 1	7,766 -	723,882 <3.4%>	
(香港) SHENZHOU INTERNATIONAL GROUP	1,926	5,291	千香港ドル 39,470	732,579	耐久消費財・アパレル	
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,926 1	5,291 1	39,470 -	732,579 <3.4%>	
(台湾) TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFAC KING SLIDE WORKS CO LTD CUB ELECPARTS INC VOLTRONIC POWER TECHNOLOGY	1,266 1,422 4,634 448	2,856 1,612 -	千新台湾ドル 153,938 146,047 -	700,635 664,719 -	半導体・半導体製造装置 テクノロジー・ハードウェアおよび機器 自動車・自動車部品 資本財	
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	7,770 4	4,468 2	299,985 -	1,365,354 <6.4%>	
合 計	株数・金額 銘柄数<比率>	13,271 26	17,549 26	- -	18,342,478 <85.6%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の<>内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

(注) 銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

○投資信託財産の構成

(2023年8月21日現在)

項 目	当 期 末	
	評価額	比率
株式	千円 21,091,570	% 98.4
コール・ローン等、その他	344,879	1.6
投資信託財産総額	21,436,449	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) 当期末における外貨建純資産(18,493,882千円)の投資信託財産総額(21,436,449千円)に対する比率は86.3%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=145.33円、1ユーロ=158.12円、1スイスフラン=164.85円、1デンマーククローネ=21.22円、1オーストラリアドル=93.20円、1香港ドル=18.56円、1新台湾ドル=4.5514円。

○特定資産の価格等の調査

(2022年8月23日～2023年8月21日)

該当事項はございません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年8月21日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	21,436,449,935
コール・ローン等	343,636,546
株式(評価額)	21,091,570,707
未収配当金	1,242,682
(B) 負債	3,259,824
未払解約金	3,259,300
未払利息	524
(C) 純資産総額(A-B)	21,433,190,111
元本	9,546,290,666
次期繰越損益金	11,886,899,445
(D) 受益権総口数	9,546,290,666口
1万口当たり基準価額(C/D)	22,452円

(注) 当ファンドの期首元本額は5,013,697,771円、期中追加設定元本額は5,324,074,203円、期中一部解約元本額は791,481,308円です。

(注) 2023年8月21日現在の元本の内訳は以下の通りです。

・グローバル厳選株式ファンド(FofS用)(適格機関投資家専用)	9,176,706,586円
・りそなグローバル厳選株式ファンド(適格機関投資家専用)	296,700,962円
・りそな つみたてグローバル株式アクティブファンド	71,987,532円
・グローバル株式厳選ファンド	895,586円

(注) 当期末の1口当たり純資産額は2.2452円です。

○損益の状況 (2022年8月23日～2023年8月21日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	107,364,959
受取配当金	106,725,729
受取利息	880,439
その他収益金	2,480
支払利息	△ 243,689
(B) 有価証券売買損益	2,787,072,715
売買益	4,605,106,066
売買損	△ 1,818,033,351
(C) 保管費用等	△ 4,601,562
(D) 当期損益金(A+B+C)	2,889,836,112
(E) 前期繰越損益金	4,844,491,928
(F) 追加信託差損益金	5,001,438,897
(G) 解約差損益金	△ 848,867,492
(H) 計(D+E+F+G)	11,886,899,445
次期繰越損益金(H)	11,886,899,445

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

該当事項はございません。